

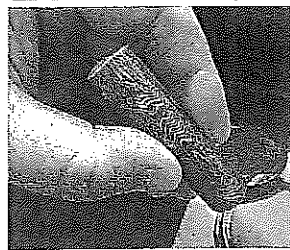
(株)小林大伸堂

高級印鑑を開発

越前打刃物の素材を採用

小林大伸堂

印鑑製造販売の小林大伸堂(福井県鯖江市)は、た高級印鑑「gene」(ジエーネ)「写真」を開発した。福井県の伝統工



芸である越前打刃物の素材を採用し、高級ナイフなどに見られる流麗な波紋「ダマスカス模様」で表面を仕上げた。経営者などの需要を見込んでい

る。越前打刃物製造の武生特殊鋼材(越前市)がステンレスを約60層積み重ねて圧縮した素材を採用し、精密加工の西村金属(鯖江市)に加工を委託した。重さは象牙の約5倍。さびない、欠けない、減らないといった特徴がある。

商品サイズは直径12ミリから1・5ミリ刻みで同18ミリまで5種類あり、価格は

は7万～15万円(税込)。店頭やインターネットで11月下旬から販売する。初年度の販売目標は約100本で、海外への事業展開も視野に入れている。

、同社は創業120年の老舗。これまで象牙や石を印鑑の素材としてきたが、重厚感がある商品を求める顧客の声に応じ、8年前から開発を進めてきた。小林照明社長は「1本ずつ手作業で作るため、1つとして同じ模様はない」と話す。